

給食食材

納品業者の細分化を

無党派 奥村 正憲



問：給食の卵焼きへの事故米混入報道は、結果的に混入はなかったとのことですが、市民に不安が広がりました。現在の食材調達方法は食物汚染があった場合、一気に被害が広がる危険性があるため、給食食材納入業者を細分化すべきと考えますがいかがでしょうか。

答（教育長）：事故米問題では、ご迷惑をおかけしましたが、事故がなく安堵しています。今後も納入業者の安全性確保に努めます。



▲安全な給食の提供を

答（教育部長）：食材の選定は給食物資購入選定委員会が入札形式により決定しています。入札形式といたしても、価格だけではなく、試食の結果で選定するものもあり、1種類の物資を複数の業者から細分化し購入することは困難です。

市民の貴重な財産

農地を守りたい

新政海クラブ

鶴指 眞澄



問：都市農業の農地は農業者が農産物を生産するだけでなく、市民に対し諸々の役割も担っています。近時、農家の後継者不足等が原因で、荒廃農地が発生したり、農地以外に転用されたりしています。他方では、農地を増やしたいという農業者もいます。このような点から、今後農地を安定的に守る施策が必要と考えますが、市の方針を伺います。

また、農業振興プランに揭げているとおり、県・農協など各関係機関と連携をとりながら未利用農地等の解消に努めていきます。

答（経済環境部長）：こ

れ以上、未利用農地等を増やさないためには、市民農園の設置、農作業受委託を実施している地域営農集団等の育成と支援、農業委員会が実施している利用権設



▲緑の財産を守るために・・・

温故館保存の提言を尊重し

積極的取り組みを

市政クラブ 飯田 英榮



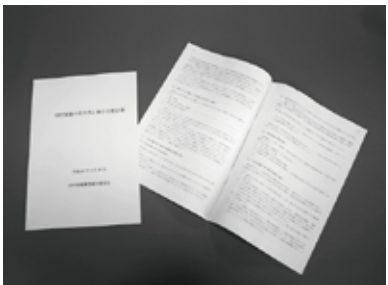
問：旧村役場調査検討委員会は、旧村役場庁舎（温故館）の学術的評価および歴史的価値を慎重に検討した結果、市が誇る貴重な近代建築遺構であり後世に残すべきものとの認識で合意しました。経済効果のみに重みを置いて考えると、取り壊しの結論だけが出て来

てしまうことを知った上で、保存および公開の提言です。提言書には、「利用しないで放置して、朽ち果てるのを座視するようなことがあってはならない」と指摘されており、早く補修すれば100年は持つという専門家の提言であります。この提言を市長および教育委員会はどう受け止めたのか、またその内容を市民に公開するのはいかがでしょうか。今後、保存および公開に向け、早急に取り組むべきと考えますが、提言に対する今後のスケジュールを伺います。

答（市長）：提言趣旨を基本とした教育委員会の最終的結論である移築という方向性は、尊重する考えです。しかし移築に係る予算、場所、実施時期等の問題もあり、教育委員会と十分協議していきたいと思っています。

答（教育長）：教育委員会としては、提言の内容を重く受け止め、旧村役場を保存し、移築するという結論を出しました。

答（理事兼教育部長）：提言書の主旨はホームページで公表します。また、提言書にある7つの提案は、その内容が、現実的にどこまで可能か等を検討し、教育委員会の結論としてまとめました。今後のスケジュールは移築場所等が決まっていらないので未定です。



▲旧村役場の在り方に係る提言書

新型インフルエンザ

市の対策は

新政海クラブ 山口 良樹



問：市では17年に策定した新型インフルエンザ対策指針に基づき、市職員の具体的対応を定めた行動計画もすでにマニュアル化されていることは、危機管理

インショップ方式で

地産地消推進

共産党 志村 憲一



問：昨今、地場産品の直売所やスーパーでの販売が注目を集めています。消費者ニーズを背景に、地元スーパーが地域の生産者と協働して、地場産品を販売するインショップ方式を導入すべきと考えますが、市の見解を伺います。

答（経済環境部長）：スーパーの店舗の中に、地場産品の直売所を設けるインショップ方式は、消費者にとつて新鮮で安全な野菜が買え、農家にとつては遠くの市場への運送もなく、大変良い方法だと思います。しかし、スーパーでの販売には高い手数料がかかるため、農家がインショップ販売に積極的にならない状況です。市としても、スーパーなどと手数料について協議したいと思っています。

花育と植樹・植栽

学校での支援は

新政海クラブ 氏家 康太



問：教育委員会では、花を作り育て、教育に取り入れる花育を学校へ広めていきたいと考えていますが、どのように支援されてきたか伺います。また、えびなの森創造事業において、学校で植樹・植栽が行われるかと思いますが、植える木の種類や場所、植樹まで子ども達が関わることであれば、えびなの森創造事業に対して当事者意識が芽生えると思います。学校における植樹・植栽計画につい

て伺います。

答（教育長）：子どもたちの感性を高めるためや学



▲花育（はないく）を学校へ

モンスターペアレント

海老名市の対応は

公明党 久米 和代



問：保護者が学校に理不尽な要求や無理難題を押し付けるモンスターペアレントが社会問題化しています。個々の教職員や学校単独での解決が困難なケースが増えているため、各自自治体はマニュアルの作成や対策チームの発足等の対応をしています。市の対応、現状の取り組みについて伺います。

答（教育部専任参事）：問題が発生した場合、ESS（えびなスクールサポートシステム）として支援しています。マニュアルの作成は考えていませんが、教職員へは事例演習等を行っています。問題が深刻化するかどうかの分かれ道に初期対応の重要性が挙げられます。今後、初期対応の仕方を含めて教職員の研修を充実していきたいと考えます。

選挙管理委員

補充員選挙結果

当選者は次のとおり（敬称略）

（選挙管理委員）	
坂田 喬	河原口 71歳
相澤 康生	東柏谷 70歳
市川 勇	中野 67歳
二見 育三	国分南 61歳
（選挙管理委員補充員）	
中山 イヨ	中央 67歳
西山 岩夫	今里 62歳
山田 雅春	上今泉 53歳
日比 正博	中新田 71歳
平成21年1月	
9・議員全員協議会	新潟県上越市議会視察 来庁
21・京都府向日市議会視察 来庁	
28・鳥取県子市議会視察 来庁	
平成20年11月	
7・議会運営委員会	
10・議員全員協議会	
14・議会運営委員会	
21・第2回臨時会	
28・議会運営委員会	
・議会運営委員会	
・第4回定例会第1日	

議会日誌

